

公表日令和4年3月30日

施設名 いるかデイ仙北

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	4	1	感染症対策上、利用者が適切な距離(1m以上)を取る必要があるが、ハード面で難しい際はスペースを工夫して対応をしている。新型コロナウイルス対策のため換気に注意しているがスペース等の改善が必要。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	6	0	配置基準を満たしているが医療的ケアを安全に行うためにさらなる看護師・職員の配置が望ましい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	5	0	玄関スロープ、屋内の各所に手すりを設置しているが、玄関前の段差解消やトイレの十分な介助スペース確保などの課題がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	6	5	PDCAサイクルの活発な活用には至っていない。適切なシステム作りを検討する必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	6	4	さらなる取り組みを検討し、業務改善につなげていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	3	3	法人ホームページにおいて公開してる。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	8	第三者評価については未実施であり、今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	8	2	今年度は新型コロナウイルスのため、今後リモート研修などに参加していきたい。、毎月の職員会議の場を活用している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	8	2	契約時やモニタリング時に保護者面談を行い、詳細を確認し、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	8	2	独自のアセスメント様式を用いている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	6	1	職員会議・ミーティングにて行事や活動について話し合い、意見交換を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	7	1	季節行事や創作活動など、時期に合わせた活動を取り入れている。職員会議などで話し合いながら、新型コロナウイルスに注意し新しい活動を取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0	10	2	各ニーズに応じて目標・課題を設定して対応している。さらなる柔軟性を持たせたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	6	3	随時、利用者・保護者のニーズや状態を確認して、医療的な注意点を考慮しながら個別の対応もっている。

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2	1	朝のミーティングを含めて1日2回のミーティングで行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	8	3	1日2回のミーティングで行っている。また、ミーティングノートを作成し、次回のミーティングで連絡事項を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	3	2	担当者が日々の支援内容を記録しており、ミーティングで情報共有し支援に生かしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	5	2	業務等の調整を行いながら緊密かつ定期的なミーティングを適時に設ける必要がある。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	8	2	個別活動や集団活動を行い、季節行事や創作活動なども取り入れながら様々な活動を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	5	1	サービス担当者会議等には児童発達支援管理責任者が出席している。今年度は電話等の相談が主であった。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	2	2	送迎時に学校の先生と情報を交換したり、必要に応じて電話やメールで連絡を取っている。また、進路担当の先生などを通じ情報交換と相談を密に行うようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	3	2	医療的ケアが必要な場合は、主治医からの指示書に基づいて実施している。また、必要に応じて嘱託医に相談している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5	5	必要に応じて施設に出向き児童の様子を見学したり、支援会議等で情報交換を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	4	1	学校卒業後は、事業所内の生活介護に移行するためスムーズに情報を共有できている。また、学校との情報交換や見学・会議を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5	4	相談や個別の会議を行うようにしている。研修は新型コロナウイルス対策もありネット研修にて参加。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	7	児童センターが併設されているが、今年度は新型コロナウイルス対策のため交流の機会はなかった。利用者・保護者の意向を確認しながら取り組んでいく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	4	3	医ケア連絡協議会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	4	2	送迎時や連絡帳を活用し情報を交換している。また、定期的な電話相談等を行い共通理解に努めている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	8	主な対象者を重症心身障がいとしており、ペアレント・トレーニング等の支援は行っていない。利用児童の実態に合った保護者支援のあり方について検討していく。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	5	1	契約時に説明しており、事業所内にも掲示している。また、利用者負担については請求明細に記載されている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	6	1	何か相談があった場合は迅速かつ丁寧に対応するよう心掛けている。また、休日および夜間の連絡先を案内し対応した。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	6	3	父母の会がない。今後、説明会の外に機会を検討。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	5	1	苦情解決責任者、苦情受付窓口、第三者委員など苦情解決体制を整備しており、苦情があった場合は迅速かつ丁寧に対応するよう心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	3	1	親しみやすく活動の様子が伝わる内容の機関紙を編集し発行している。行事予定、連絡事項などの情報をさらに定期的に発信する必要がある。関係機関に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	9	3	0	他機関への情報提供や写真掲載等の個人情報の取扱いについて、承諾を得ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	3	0	個別的な関わりにより表情や仕草など微弱的なサインを汲み取るよう努めている。また、問いかけのども工夫し自己選択の場を交えるようコミュニケーションをとっている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	5	5	地域住民を招待しての行事は行っていない。保護者・利用者の意向を確認しながら新型コロナウイルスの状況を見て検討したい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	5	1	各種マニュアルは整備されているが、保護者への周知は十分ではない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	2	0	避難訓練を実施している。(火災・水害・地震)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	6	2	年1回研修会に参加し、職員全体へ伝達を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	5	1	身体拘束を行う場合について個別支援計画等を作成し、説明し同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	4	1	食物アレルギーについて、アセスメント時やモニタリング時に確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	6	1	ミーティング等で報告し対応について話し合い、記録を回覧し共通理解と再発防止に努めている。様式の整備やミーティングの進め方など、さらなる改善も必要である。

アンケート結果についてお知らせいたします。皆様からのご意見を参考にさせていただき、今後もサービスの質の向上に努めて参ります。ご協力ありがとうございました。

- 公表日:令和4年3月30日
 ○事業所名:いるかデイ仙北
 ○調査期間:令和4年2月28日～3月18日
 ○保護者数:4名
 ○回収数:4(回収率100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4				
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	3	1			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	3	1		コロナ禍の中であっても工夫されている	新型コロナウイルスに今後でも対応しながら活動を行っていきます
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	1	コロナ禍のためないはず	新型コロナウイルス発生より交流や場の設定に制限を設け交流を控えております
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	4			利用の頻度を教えてくれる	これからも心身の状況を共有しながら共にサポートしていきます
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3	1	元々あるのかコロナ禍のためなのか不明	保護者会など声をいただける場を新型コロナウイルスに留意しながら開催できるように検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			休日夜間の連絡もできるようになり安心感が増した	新型コロナウイルスや緊急の連絡及び健康状態など、柔軟に連絡を取り合えるよう今後も取り組んでいきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4			かなり見守っていただいている。感謝している	お互い確認を重ねながら今後も安全に暖かなケアを心掛けます
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4			もう少し見やすいと大変ありがたいし、利用していない人の目も引くと思われる。	機関紙及びホームページやSNS等を活用し活動などの楽しさを発信できるよう検討していきます。
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	4				
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	1		周知までとは言えない。	取組や体制等をわかりやすく周知・説明できるよう努めていきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1		訓練されていると思うが、本人が利用している日を想定しているかは不明	火災、地震、水害等を想定した避難訓練を盛岡市と計画し行っております。今後、各曜日の想定も検討いたします。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	4			楽しそう	皆様のご支援をいただきながらこれからも充実したサービスを提供していけるよう努めます。
	18 事業所の支援に満足しているか	3	1		100点満点とは言えないのが心苦しいが、コロナの理由がほとんどのため仕方ない。コロナを言い訳にせず、どうやったら受入できるかを一緒に考えてほしい。事業所存続のため。	感染対策に努めながらさらに利用者及びご家族をサポートできるよう支援の形を検討していきます。また、安全で柔軟な受け入れ態勢を検討し安定した経営体制を皆様と共に作り上げるよう努めます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。